

江古田小校長室便り 「温故創新」

H29 (2017)・1225 NO66

校長 伊波喜一

インフルを ぎりぎりかわし 終了の 並ぶ姿に マスクの白きよ
子ども達が登校するのも、今日で終わります。明年へ向け、諸準備をしていける休みであることを願います。 さて、ヴァイオリンの中に**こんちゅう**がいる、と言ったらどう思うでしょうか。**魂柱**は直径1cmにも満たない丸い木の棒のことで、胴体の奥にあるため見えません。この魂柱は、弦の振動を胴体に伝える重要な役割を果たします。名器ストラディバリウスにもやはり魂柱があり、そのコンマmm以下の位置の微妙な変化が、楽器の音色や音質に大きく影響すると言われています。この魂柱のことをイタリアではアニマとよんでいます。アニマには魂、心、命という意味があります。 ヴァイオリンに限らず、私達の人生にも魂柱があるように思います。ここ一番という勝負どころ、踏ん張りどころが誰にも必ず訪れます。その時に、魂柱の位置がぶれていたのでは、本来持てる力を発揮することは出来ません。一年に一回しか魂柱の位置を直さないのと、毎日微調整しているのとでは、後々の結果に大きな差がつきます。

筆者自ら魂柱を振り返り、明年**戌年**への飛躍としていく決意です。